



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 645 号



平成 28 年 8 月 24 日



――目次――

- 1. FAMIC(ファミック)情報
- 2. 食品の安全に関する情報等
 - 内閣府消費者委員会事務局
 - 内閣府食品安全委員会事務局
 - 消費者庁
 - 国税庁
 - 農林水産省
 - 公益財団法人味の素の文化センター
 - 一般財団法人日本食品分析センター
 - 独立行政法人農畜産業振興機構
 - 国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所
 - 厚生労働省
 - 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所
 - 国立医薬品食品衛生研究所
- 3. パブリックコメントに関する情報
 - 募集中のもの【前号掲載分以降】
 - ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇
 - ◆ 「有機同等性」について ◆

1. FAMIC(ファミック)情報

FAMIC ホームページに、以下の情報を掲載しました。

■消費安全情報部■

(1)「有機農産物の生産に使用可能な肥料の判断基準等に関する講習会」

肥料生産業者、販売業者等の皆様が有機農産物の日本農林規格を正しく理解し、有機農産物の生産に使用することが可能な肥料や土壌改良資材を生産、販売するための一助として、有機農産物の日本農林規格の概要と有機農産物の生産に使用が可能な肥料、土壌改良資材の解説を主体とした講習会を全国7カ所で開催します。

※全国の開催予定については、以下からご確認ください。(随時更新)

◆開催予定表 [PDF : 66KB]

<http://www.famic.go.jp/event/index.html#koshu>

<http://www.famic.go.jp/event/kouryuu/28yotei.pdf>

※以下の開催分は現在募集中ですので、ご確認ください。

◆名古屋市開催分 [PDF : 227KB]

【開催日】平成 28 年 10 月 4 日 (火)

【募集締切】平成 28 年 9 月 2 日 (金)

<http://www.famic.go.jp/event/kouryuu/281004koshu/281004annai.pdf>

(2)FAMIC が所蔵している書籍等を、図書の有効活用を図る観点から、大学、独立行政法人、公益一般社団・財団法人等(以下「法人」という。)に寄贈します。

【申込締切】平成 28 年 8 月 31 日 (水)

【ご注意】同一書籍等について、複数の法人から申込みがあった場合は、内部で検討の上寄贈先を決定し、寄贈書籍等は着払いで発送します。

http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kizou/kizouindex.html

■規格検査部■

(1)豆乳類の日本農林規格の確認等の原案作成委員会の開催及び一般傍聴について

【開催日時】平成 28 年 9 月 6 日 (火)13 時 30 分～ 16 時 30 分

【開催場所】農林水産消費安全技術センター研修室(さいたま市中央区
新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎検査棟 7 階)

【議題】「豆乳類の日本農林規格の確認、改正及び廃止について」など

【傍聴募集人数】15 人程度 (応募者多数の場合は抽選を行い、8 月 31 日 (水)
までに傍聴の可否について FAX 又は電話によりご連絡します)

【締切】平成 28 年 8 月 30 日 (火)17 時到着分まで

<http://www.famic.go.jp/event/sakuseiinnkai/kekka/food/20160906iinnkai.html>

(2)食料缶詰及び食料瓶詰 3 品目の日本農林規格の確認等の原案作成委員会の開催及び一般傍聴について

【開催日時】平成 28 年 9 月 1 日 (木)10 時 00 分～ 16 時 00 分

【開催場所】農林水産消費安全技術センター研修室(さいたま市中央区
新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎検査棟 7 階)

【議題】「『畜産物缶詰及び畜産物瓶詰』『水産物缶詰及び水産物瓶詰』『農産物缶詰及び農産物瓶詰』の日本農林規格の確認、改正及び廃止について」など

【傍聴募集人数】15 人程度 (応募者多数の場合は抽選を行い、8 月 26 日 (金)
までに傍聴の可否について FAX 又は電話によりご連絡します)

【締切】平成28年8月25日(木)17時到着分まで

<http://www.famic.go.jp/event/sakuseiinnkai/kekka/food/20160901innkai.html>

2. 食品の安全に関する情報等

各府省や関連団体等で新規に公開された情報の中から、食品の安全と消費者の信頼の確保に関する情報等を随時掲載しています。

概要等についてはFAMICでまとめたものです。

■内閣府消費者委員会事務局■

(1)消費者委員会、専門調査会等の開催結果

◆第35回新開発食品調査部会(平成28年8月17日)配付資料

内容 「『特定保健用食品の表示許可等について』の一部改正について」
など

<http://www.cao.go.jp/consumer/kabusoshiki/shinkaihatu/bukai/035/shiryou/index.html>

◆第229回消費者委員会本会議(平成28年7月26日)議事録

※議事内容は「電力託送料金に関する調査会の報告書について」等についてですが、その他で「新開発食品調査部会から報告事項」が挙げられています

<http://www.cao.go.jp/consumer/iinkai/2016/229/gjjiroku/index.html>

(2)特定保健用食品の表示許可に係る答申について

<http://www.cao.go.jp/consumer/iinkaikouhyou/2016/index.html#lst8>

■内閣府食品安全委員会事務局■

(1)食品安全委員会、専門調査会の開催案内

◆第139回農薬専門調査会幹事会(平成28年8月26日)

議事 「農薬(イソフェタミド、オキシテトラサイクリン、シクラニリブロール、フェナザキン、フルトラニル)の食品健康影響評価について」
など

http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/annai/nouyaku_annai_kanjikai_139.html

(2)食品安全委員会、専門調査会の開催結果

◆第619回食品安全委員会(平成28年8月23日)

内容 「食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて」「食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について」など

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20160823fsc>

(3) 最新 3 週間 (平成 28 年 7 月 15 日～平成 28 年 8 月 5 日) の海外情報

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2016&from_month=07&from_day=15&to=struct&to_year=2016&to_month=08&to_day=05&areaId=00&countryId=0000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

■ 消費者庁 ■

(1) 食品と放射性物質に関するリスクコミュニケーション等の開催実績及び予定について (平成 28 年 8 月 18 日更新)

http://www.caa.go.jp/jisin/r_index.html#ris-top

◆ 「食と放射能に関する説明会」

【開催場所及び開催日】

福島県北塩原村：平成 28 年 9 月 26 日

福島県福島市：平成 28 年 9 月 23 日

福島県南相馬市：平成 28 年 9 月 21 日、12 日、7 日、8 月 31 日

福島県会津若松市：平成 28 年 8 月 26 日

福島県会津坂下町：平成 28 年 8 月 25 日

◆ 朝小サマースクール in 昭和女子大学 2016 (再掲)

「知ろう！考えよう！親子で学ぶ、食品中の放射性物質」 [PDF：155KB]

【開催場所及び開催日】

東京都世田谷区：平成 28 年 8 月 28 日

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160714kouhyou_1.pdf

◆ 「食品に関するリスクコミュニケーション～食品中の放射性物質に対する取組と検査のあり方を考える～」 [PDF：2.3MB] (再掲)

【開催場所及び開催日】

東京都千代田区：平成 28 年 9 月 2 日

福島県郡山市：平成 28 年 8 月 29 日

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160726kouhyou_2.pdf

(2) 特別用途食品制度に関する検討会

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/tokubetsu_youto_kentoukai.html

◆ 第 3 回 (平成 28 年 9 月 14 日) 開催案内 [PDF：197KB]

議題 「ワーキンググループ報告書について」「新たな食品区分を追加する仕組み等の検討について」など

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/pdf/160914_kentoukai.pdf

(3)加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会

◆第7回(平成28年8月23日)配付資料

議題 「実行可能な方策についての検討」など

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/kakousyokuhin_kentoukai.html

(4)機能性表示食品制度における機能性関与成分の取扱い等に関する検討会

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/kinousei_kentoukai.html

◆第6回(平成28年6月30日)議事録[PDF:373KB]

議題 「栄養成分の取扱いについて」など

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/pdf/160630_gijishidai.pdf

(5)機能性表示食品制度届出データベース 届出情報の更新

http://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_function_claims/index.html#confirmation

(6)回収・無償修理等情報(食料品等関係)

◆イオンリテール(株)「ローストココナッツチップス3品目」(賞味期限:2016年8月~2017年4月)(回収)(対応開始日:平成28年8月20日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016062>

◆松山油脂(株)「山葡萄の圧搾果汁300mL」(販売期間:2015年11月~2016年8月)(返金/回収)(対応開始日:平成28年8月18日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016041>

◆(株)壺屋総本店「あんマドレエヌ瀬戸内レモン」(賞味期限:2016年8月25日)(回収)(対応開始日:平成28年8月15日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016031>

◆ユウキ食品(株)「ラヨン・ナンプラー700ml」(賞味期限:2017年8月10日)(返金/回収)(対応開始日:平成28年8月16日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016030>

◆庄内たがわ農業協同組合 月山ワイン山ぶどう研究所「山ぶどう原液300ml」(回収)(対応開始日:平成28年8月5日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016023>

◆(株)デリカウエーブ「あんホイップぱん」(賞味期限:2016年8月10日~2016年8月18日)(返金/回収)(対応開始日:平成28年8月16日)

<http://www.recall.go.jp/new/detail.php?rcl=00000016029>

(参考)

◆新規登録情報一覧(消費者庁リコール情報サイト)

<http://www.recall.go.jp/new/>

■ 国税庁 ■

◇ 酒類等の放射能分析結果(更新)

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/anzen/radioactivity.htm>

(参考)

◆ 酒類の品質及び安全性の確保

<http://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/anzen/index.htm>

■ 農林水産省 ■

(1) 東京電力福島第一原子力発電所の事故関連

◆ 農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果(随時更新)

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/s_chosa/index.html

◆ 水産物の放射性物質調査の結果について(更新)

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

(2) 豚流行性下痢(PED)について(更新)

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/ped/ped.html>

(3) 韓国における口蹄疫の発生について(更新)

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

(4) シンポジウム「ゲノム情報を活用した豚品種改良の最前線～国際競争力の向上を目指して～」の開催について

【開催日時】平成28年10月6日(木)13時10分～17時30分

【開催場所】主婦会館プラザエフ7階会議室「カトレア」
(東京都千代田区六番町15)

【成果発表会の内容】「第一部：研究成果の概要」「第二部：豚品種改良の動向と研究成果への期待」など

【参加可能人数】定員120名(定員になり次第、締切)

【参加費】無料(事前申込みが必要)

【申込締切】平成28年9月16日(金)

http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/160819_2.html

■ 公益財団法人味の素の文化センター ■

◇ 第29回人文機構シンポジウム 和食文化の多様性－日本列島の食文化を考える

【開催日時】平成28年10月15日(土)13時00分～17時00分

【開催場所】味の素グループ高輪研修センター大講義室

(東京都港区高輪 3-13-65)

【募集人数】 300名(先着順、定員に達した時点で締切)

【参加費用】 無料

【プログラム】「基調講演」「プレゼンテーション」「パネルディスカッション」など

<http://www.syokubunka.or.jp/event/symposium/detail/post-16.html>

■ 一般財団法人日本食品分析センター ■

(1) 第6回技術成果発表会

【開催日時】 平成28年10月21日(金)10時～18時

【開催場所】 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール
(東京都渋谷区桜丘町23-21)

【内容】「技術成果発表会」「記念講演」など

【参加費】 無料

【定員】 400名

<http://www.jfirl.or.jp/news/2016/08/6.html>

(2) 日本食品分析センター講演会(名古屋支所)

【開催日時】 平成28年11月1日(火)13時50分～16時40分

【開催場所】 福井市地域交流プラザアオッサ研修室607
(福井県福井市手寄1-4-1)

【内容】「HACCPも基礎が大事」「タンパク質資源としての海洋動物の有効利用」

【参加費】 無料

【定員】 81名(要事前申込)

<http://www.jfirl.or.jp/news/2016/08/111.html>

■ 独立行政法人農畜産業振興機構 ■

◇ alic セミナー「地理的表示保護制度について」

【開催日時】 平成28年9月5日(月)14時00分～15時30分

【開催場所】 北館6階大会議室(東京都港区麻布台2-2-1麻布台ビル)

【講演内容】「地理的表示保護制度について」

【参加費】 無料

http://www.alic.go.jp/koho/mng01_seminar160905.html

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所 ■

◇ 平成28年度貝毒分析研修会

【開催日時】 平成28年10月25日(火)～28日(金)4日間

【開催場所】 国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所
(神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4)

【研修内容】「下痢性・脂溶性貝毒及びその分析に関する概論と二枚貝の分析実習」「分析の信頼性と標準物質」「麻痺性貝毒及びその分析に関する概論と二枚貝の分析実習」「麻痺性貝毒の簡易測定法の概論と分析実習」など

【受講料】 無料

【申込期限】 平成 28 年 8 月 31 日(木)まで

【定員】 30 名(定員を超え次第、締切)

<http://nrifs.fra.affrc.go.jp/event/kaidoku/h28/h28kaidoku.html>

■厚生労働省■

(1)東京電力福島原子力発電所の事故関連

◆食品中の放射性物質の検査結果について(第 995 報)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000134136.html>

◆食品中の放射性ストロンチウム及びプルトニウムの測定結果(平成 27 年 9 ~ 10 月調査分)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000133523.html>

(2)食品衛生管理の国際標準化に関する検討会

◆第 7 回開催案内

【開催日時】 平成 28 年 9 月 9 日(金)9 時 30 分 ~ 11 時 45 分

【開催場所】 航空会館 7 階 701 ~ 703 会議室(東京都港区新橋 1-18-1)

【議題】「事業者団体からのヒアリング」「討議」など

【申込締切】 平成 28 年 9 月 2 日(金)17 時 00 分

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000134200.html>

◆第 6 回(平成 28 年 8 月 22 日)配付資料

【議題】「事務局追加説明」「事業者団体からのヒアリング」「討議」など

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000134387.html>

(3)平成 28 年度モニタリング検査実施通知

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121029.html>

◆生食輸発 0823 第 1 号「平成 28 年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について(中国産アスパラガスのアメトリン及びきくらげのクロルピリホス、タイ産コブミカンの葉のプロフェノホス並びに南アフリカ産グレープフルーツのエポキシコナゾール)[PDF: 39KB]

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinzenbu/0000134270.pdf>

■国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所■

◇「健康食品」の安全性・有効性情報(更新)

「素材情報データベース」の「グルタミン」「イチョウ」「イチョウ葉エキス」「ゴマ」「クルクミン」「ダイズ」「トマト」「ヒバマタ、ケルプ」「亜鉛」など更新

<http://hfnet.nih.go.jp/>

(参考)

◆「健康食品」のホームページ(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/hokenkinou/index.html>

■ 国立医薬品食品衛生研究所 ■

◇ 食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/index.html>

◆ 食品安全情報(微生物)(更新) [PDF : 522KB]

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2016/foodinfo201617m.pdf>

◆ 食品安全情報(化学物質)(更新) [PDF : 677KB]

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2016/foodinfo201617c.pdf>

3. パブリックコメントに関する情報

各府省では、政策の立案等を行おうとする際に、その案を公表し、様々な立場の方からご意見を提出していただく機会を設け、提出された意見等を考慮して最終的な意思決定を行っています。詳細は各ページをご覧ください。

■ 募集中のもの【前号掲載分以降】

◇ 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う経過措置に関する政令案」に関する御意見の募集について(厚生労働省)

募集期間：平成 28 年 8 月 17 日～平成 28 年 9 月 15 日(郵送：同日必着)

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495160158&Mode=0>

~~~~~  
◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 有機同等性について ◆

~~~~~  
JAS 法に基づく有機 JAS 制度では、国内で農産物や加工食品を有機食品として販売するためには、JAS 認定を取得して農産物や加工食品に有機 JAS マークを付す必要があります。このため、海外の事業者が日本国内で有機食品を販売するときも、日本の有機 JAS 制度に基づいた JAS 認定を取得しなければなりません。

また、世界の国でも日本の有機 JAS 制度と同様に有機食品として販売する条件に有機認定の取得を義務付けている国があります。これらの国へ有機食品を輸出する場合は、相手の国のルールに従って有機認定を取得する必要がありますが、相手の国ごとに有機認定を取得することは、費用や手間も掛かるため考え出された制度が「有機同等性」です。

例えば、米国には日本の有機 JAS 制度とよく似た有機制度があり、日本と米国がお互いに相手国の制度が自国の制度と「同等」であると承認することにより、日本の有機 JAS 認定事業者は、米国の制度に基づく有機認定を取得しなくとも米国へ有機食品を輸出することが可能になりました。現在、日本では、米国のほか、カナダ、スイス及び EU 加盟国と相互に承認しています。

このように、ある国で有機食品として認められた農産物や加工食品が輸出先の国でもそのまま有機食品として流通できれば、消費者は世界中の有機食品を手にする機会が増えることになり、また、事業者にとっても輸出促進につながるなどが期待されています。

有機 JAS 制度(農林水産省)

http://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki.html

★☆☆編集後記☆☆★

最後までお読みいただきありがとうございます。

日本の裏側リオ・デ・ジャネイロで行われていたオリンピックが終わりました。次の開催は 4 年後の東京です。前回東京で行われたときは夏の暑さを回避して気候の穏やかな秋に行われました。期中の平均気温は 19.7 度、とても過ごしやすい秋晴れの東京だったようです。一方、これから開催が予定されている東京オリンピックは、7 月下旬から 8 月上旬に至る炎天下真夏の二週間です。オリンピック開催と同じ期間の今年の平均気温は 31.5 度、特に閉会式が行われる予定の 8 月 9 日は 38 度もありました。閉会式当日には男子マラソンが午前 7 時半から予定されていますが、マラソン競技に限らず組織委員会にはしっかりと炎熱対策をしていただきたいと思います。

～ご利用に当たって～

当メールマガジンで紹介しているリンク先には一部 PDF ファイルを利用しているものがあります。

PDF ファイルをご覧頂くためには、下記アドレスから「Adobe Reader」をダウンロードしてください。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

[FAMIC メールマガジン]

発行：独立行政法人農林水産消費安全技術センター
消費安全情報部 情報管理課

(〒 330 - 9731 さいたま市中央区新都心 2 - 1

さいたま新都心合同庁舎検査棟)

URL <http://www.famic.go.jp/>

<メールマガジンのバックナンバーはこちら>

http://www.famic.go.jp/mail_magazine/back.html

<配信中止・配信先変更はこちら>

http://www.famic.go.jp/mail_magazine/stand.html

<ご意見・ご要望・ご感想はこちらへお寄せください>

<https://www.famic.go.jp/docs/reference/hirobaform/index.html>